



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月5日
東・福

上場会社名 イフジ産業株式会社 上場取引所
コード番号 2924 URL <http://www.ifuji.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤井 宗徳
問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 原 敬 (TEL) 092-938-4561
四半期報告書提出予定日 平成26年11月6日 配当支払開始予定日 平成26年12月10日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績 (平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	6,197	14.8	204	△35.9	215	△35.5	143	△35.6
26年3月期第2四半期	5,399	12.0	319	△7.0	334	△7.9	223	2.1

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 146百万円(△35.2%) 26年3月期第2四半期 225百万円(3.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	17.25	—
26年3月期第2四半期	26.78	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	8,366	3,896	46.6
26年3月期	8,044	3,816	47.4

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 3,896百万円 26年3月期 3,816百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
27年3月期	—	5.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,150	4.0	549	63.0	542	48.2	316	34.1	37.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期2Q	8,345,370株	26年3月期	8,345,370株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	13,297株	26年3月期	12,847株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期2Q	8,332,328株	26年3月期2Q	8,334,063株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策等により株価の上昇や企業の雇用環境の改善が図られ、国内景気は緩やかに回復の気配が見られるものの、消費税の増税による反動から個人消費が低迷し、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

食品業界におきましては、円安や消費税の増税等の影響により物価が上昇しており、消費者の生活防衛意識が強まることが予想され、依然として予断を許さない経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は、鶏卵関連事業において販売数量が増加したこと等により、前年同期比14.8%増の6,197百万円となりました。

損益につきましては、鶏卵関連事業において原料買付単価が上昇したこと等により、営業利益は同35.9%減の204百万円、経常利益は同35.5%減の215百万円、四半期純利益は同35.6%減の143百万円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①鶏卵関連事業

当セグメントにおきましては、販売価格及び原料仕入価格が相場に連動して変動するものが多く、鶏卵相場が高く推移した場合は売上高、仕入高ともに増加し、低く推移した場合は売上高、仕入高ともに減少する傾向にあるため、販売価格と仕入価格の差益を一定にする努力をしております。

当セグメントの売上高につきましては、販売数量が前年同期比2.0%増加したことや鶏卵相場（全農東京M基準値）が前年同期比19.8%（約34円）高く推移したこと等により、液卵売上高は前年同期比18.5%増の5,294百万円となりました。また、加工品売上高は同9.1%減の212百万円、その他売上高は同1.6%減の120百万円となりました。この結果、当第2四半期連結累計期間の合計の売上高は、同16.7%増の5,628百万円となりました。

セグメント利益につきましては、鶏卵市場での業務加工用の需要増加により、加工用原料卵の仕入減少に伴い原料買付単価が上昇したこと等により、前年同期比41.5%減の157百万円となりました。

②調味料関連事業

当セグメントの売上高につきましては、主に既存商品の販売が減少していることから、前年同期比1.0%減の547百万円となりました。

セグメント利益につきましては、主に売上高の減少の影響により、前年同期比3.7%減の36百万円となりました。

③その他

当セグメントにつきましては、売上高は前年同期比1.4%減の22百万円となり、セグメント利益は同12.4%減の10百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は8,366百万円となり、前連結会計年度末に比べ322百万円増加しました。

流動資産は4,200百万円となり、前連結会計年度末に比べ103百万円増加しました。主な要因は、商品及び製品の増加288百万円、受取手形及び売掛金の減少167百万円等によるものであります。

固定資産は4,166百万円となり、前連結会計年度末に比べ219百万円増加しました。主な要因は、機械装置及び運搬具の増加275百万円等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は4,470百万円となり、前連結会計年度末に比べ242百万円増加しました。

流動負債は2,783百万円となり、前連結会計年度末に比べ16百万円増加しました。主な要因は、未払法人税等の増加69百万円、短期借入金の減少160百万円等によるものであります。

固定負債は1,687百万円となり、前連結会計年度末に比べ225百万円増加しました。主な要因は、長期借入金の増加239百万円等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は3,896百万円となり、前連結会計年度末に比べ79百万円増加しました。主な要因は、四半期純利益143百万円の計上及び配当金の支払い66百万円により利益剰余金が77百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の47.4%から46.6%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における「現金及び現金同等物の四半期末残高」は、前年同期に比べ121百万円減少し902百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動により得られた資金は、前年同期に比べ57百万円減少し177百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の計上212百万円及び売上債権の減少167百万円、法人税等の還付額57百万円、たな卸資産の増加319百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動により使用された資金は、前年同期に比べ68百万円増加し213百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出185百万円及び無形固定資産の取得による支出27百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動により得られた資金は、前年同期に比べ310百万円増加し12百万円となりました。これは主に、長期借入れによる収入470百万円、短期借入金の純減少額190百万円、長期借入金の返済による支出200百万円、配当金の支払額66百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の第2四半期の連結業績につきましては、平成26年11月5日公表の「平成27年3月期第2四半期業績予想数値と実績数値との差異に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、平成27年3月期の通期の連結業績予想につきましては、平成26年5月1日の「平成26年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,313	1,290
受取手形及び売掛金	1,959	1,791
商品及び製品	394	682
仕掛品	41	53
原材料及び貯蔵品	294	312
繰延税金資産	15	33
その他	84	41
貸倒引当金	△5	△5
流動資産合計	4,097	4,200
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,045	1,009
機械装置及び運搬具（純額）	516	792
土地	2,069	2,075
その他（純額）	100	25
有形固定資産合計	3,732	3,903
無形固定資産	11	40
投資その他の資産		
投資有価証券	61	66
繰延税金資産	120	123
その他	33	45
貸倒引当金	△12	△12
投資その他の資産合計	203	222
固定資産合計	3,947	4,166
資産合計	8,044	8,366

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	567	524
短期借入金	1,702	1,542
未払法人税等	24	94
未払消費税等	2	7
賞与引当金	57	67
役員賞与引当金	—	9
その他	411	537
流動負債合計	2,766	2,783
固定負債		
長期借入金	824	1,064
負ののれん	18	6
長期未払金	567	567
繰延税金負債	29	29
その他	21	20
固定負債合計	1,461	1,687
負債合計	4,227	4,470
純資産の部		
株主資本		
資本金	455	455
資本剰余金	366	366
利益剰余金	2,990	3,067
自己株式	△5	△5
株主資本合計	3,807	3,884
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8	11
その他の包括利益累計額合計	8	11
純資産合計	3,816	3,896
負債純資産合計	8,044	8,366

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	5,399	6,197
売上原価	4,332	5,220
売上総利益	1,066	977
販売費及び一般管理費	747	772
営業利益	319	204
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	0
負ののれん償却額	12	12
受取賃貸料	3	2
その他	7	4
営業外収益合計	23	20
営業外費用		
支払利息	9	10
営業外費用合計	9	10
経常利益	334	215
特別利益		
固定資産売却益	—	1
特別利益合計	—	1
特別損失		
固定資産除売却損	0	4
特別損失合計	0	4
税金等調整前四半期純利益	334	212
法人税、住民税及び事業税	112	89
法人税等調整額	△2	△21
法人税等合計	110	68
少数株主損益調整前四半期純利益	223	143
少数株主利益	—	—
四半期純利益	223	143

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	223	143
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	2	2
その他の包括利益合計	2	2
四半期包括利益	225	146
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	225	146
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	334	212
減価償却費	102	113
負ののれん償却額	△12	△12
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△3	0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	4	9
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	11	9
受取利息及び受取配当金	△1	△1
支払利息	9	10
受取保険金	△0	△0
固定資産除売却損益 (△は益)	0	2
売上債権の増減額 (△は増加)	229	167
たな卸資産の増減額 (△は増加)	32	△319
仕入債務の増減額 (△は減少)	△177	△43
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△31	5
その他	△102	△1
小計	394	153
利息及び配当金の受取額	1	1
利息の支払額	△9	△9
保険金の受取額	0	0
法人税等の支払額	△151	△24
法人税等の還付額	—	57
営業活動によるキャッシュ・フロー	234	177
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△334	△324
定期預金の払戻による収入	324	324
有形固定資産の取得による支出	△134	△185
有形固定資産の売却による収入	—	13
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
無形固定資産の取得による支出	—	△27
その他	0	△12
投資活動によるキャッシュ・フロー	△145	△213
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△190
長期借入れによる収入	—	470
長期借入金の返済による支出	△214	△200
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の売却による収入	0	—
配当金の支払額	△83	△66
財務活動によるキャッシュ・フロー	△297	12
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△208	△23
現金及び現金同等物の期首残高	1,232	925
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,023	902

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	鶏卵関連事業	調味料関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,823	552	5,376	22	5,399
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,823	552	5,376	22	5,399
セグメント利益	269	38	308	11	319

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業及び太陽光発電事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	308
「その他」の区分の利益	11
四半期連結損益計算書の営業利益	319

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	鶏卵関連事業	調味料関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,628	547	6,175	22	6,197
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,628	547	6,175	22	6,197
セグメント利益	157	36	194	10	204

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業及び太陽光発電事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	194
「その他」の区分の利益	10
四半期連結損益計算書の営業利益	204

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。